



秋田県における犯罪情勢と犯罪抑止に向けた取組

秋田県警察本部生活安全部
首席参事官兼生活安全企画課長 武田 達也



1 はじめに

秋田県警察では、平成30年の運営方針を

「安全で安心な秋田を守る力強い警察」～県民に寄り添い 県民とともに～

と掲げ、地域住民や関係機関・団体等の方々と連携協働しながら、犯罪のない安心して暮らせる秋田に向けて取り組んでいます。

2 秋田県の概要

秋田県は、約 11,000km²という全国第6位の面積を誇り、世界自然遺産の白神山地をはじめ、奥羽山脈、鳥海山などの山々や、日本一の水深を誇る田沢湖、景勝地国立公園十和田湖、さらには沿岸線約264kmに及ぶ雄大な日本海といった自然に恵まれた県です。

また、「しょつつる鍋」や「きりたんぼ鍋」といった独特な食文化や、天然秋田杉の薄板を利用した「大館曲げわっぱ」、山桜の樹皮を利用した角館の「樺細工」などの伝統工芸品、豊作を祈願する「秋田竿燈まつり」や、国の重要無形文化財で新たにユネスコ無形文化遺産に指定された「男鹿のナマハゲ」などの貴重な民俗文化も受け継がれています。



「田沢湖」



「秋田竿燈まつり」

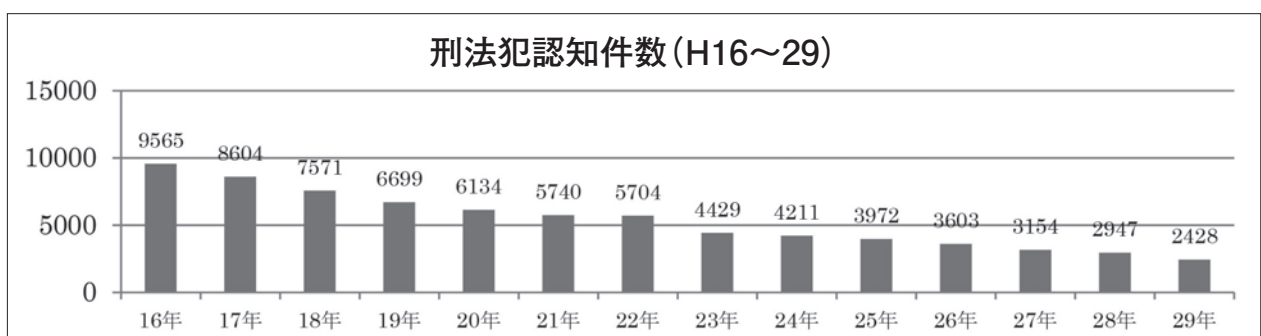


「男鹿のナマハゲ」

3 秋田県における犯罪情勢

(1) 刑法犯認知件数

秋田県の刑法犯認知件数は、平成13年に戦後最多となって以降、16年連続で減少を続け、平成29年は2,428件と最少を更新しています。



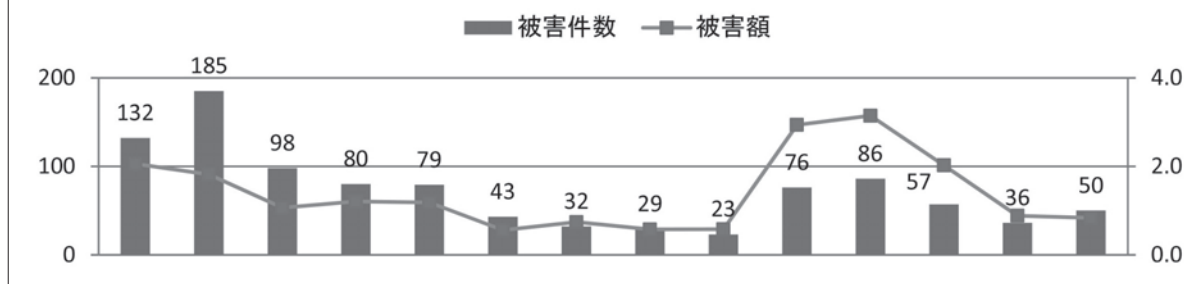
凡例:単位(件)

(2) 特殊詐欺被害状況

秋田県における特殊詐欺の認知件数は、平成27年以降減少傾向にあったものの、平成29年は一転、増加に転じるなど、予断を許さない情勢が続いています。

特に、高齢者の被害が深刻で、件数で全体の48パーセント、被害額では全体の約87パーセントを占めていることから、今後、更なる高齢者被害予防対策を推進してまいります。

秋田県の特異詐欺被害の推移 (H16～29)



	平成16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
被害件数	132	185	98	80	79	43	32	29	23	76	86	57	36	50
被害金額	2億500万	1億8000万	1億600万	1億2000万	1億1000万	5500万	7400万	5700万	5700万	2億9000万	3億1000万	2億200万	8800万	8300万

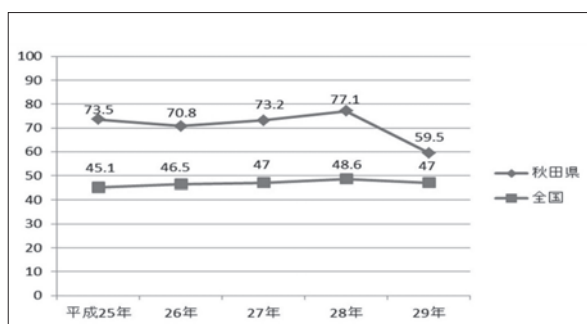
凡例:単位(被害件数【件】被害額【円】)

(3) 県内の無施錠率

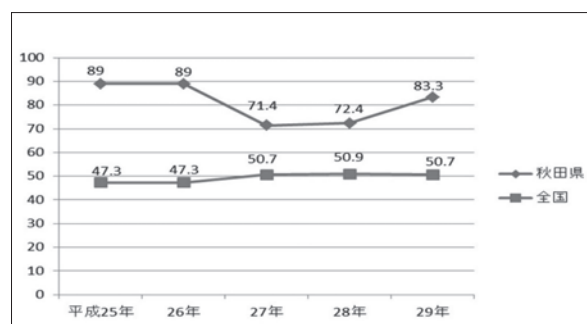
秋田県の過去5年間の無施錠率は、住宅対象侵入窃盗で改善の傾向が見られるものの、依然として全ての手口で全国平均を大きく上回っている状況にあります。

このため秋田県警察では、街頭キャンペーンなどの広報啓発活動に努めています。

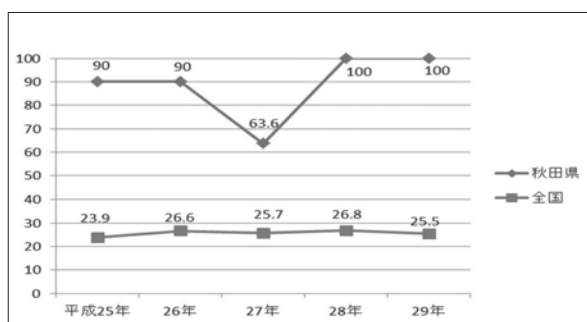
【秋田県の無施錠率の状況 (H25～29)】



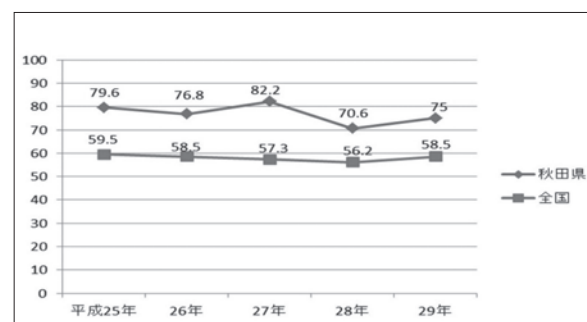
【住宅対象侵入窃盗】



【車上ねらい】



【自動車盗】



【自転車盗】

4 犯罪抑止に向けた取組

(1) 施錠率の向上に向けた取組

ア「ロックの日」の街頭キャンペーン

秋田県では、毎年6月9日の「ロックの日」に合わせて、日本ロックセキュリティ協同組合秋田県支部、秋田市合鍵協会などの関係機関・団体とともに、盗難被害防止に向け、駅や学校、イベント会場等で鍵掛けの徹底を呼び掛けています。



ロックの日の街頭キャンペーン

イ「セーフティフェスタin秋田ふるさと村」における警察広報イベント

平成30年10月21日、横手市の総合観光施設「秋田ふるさと村」において、防犯性能の高いモデル窓や錠前などを備えた防犯体験型巡回車「安全安心まもる号」を展示するなどの警察広報イベントを開催しています。



安全安心まもる号による広報活動

(2) 特殊詐欺被害防止のための取組

ア「電子マネー被害防止封筒」の配布

秋田県警察では、平成30年6月、「電子マネー被害防止封筒」を作成し、全県のコンビニエンスストアに配布、活用しています。

この封筒は表面に秋田犬の写真、裏面にだましのショートメッセージサービスの画面と注意書きを入れてデザインしており、客が購入した電子マネーをこれに入れて、店員が声を掛けながら手渡することで、被害に気付かせる効果を持つものです。

この封筒の導入以来、コンビニエンスストアでの水際阻止事例が大幅に増えています。

表面



裏面



コンビニエンスストアに配布した電子マネー被害防止封筒

イ「安全・安心まちづくりフェスタ2018」での広報

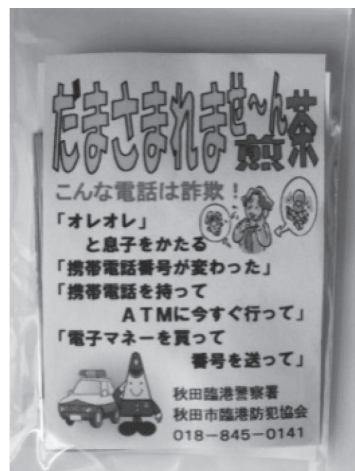
平成 30 年 10 月 8 日、秋田市の大型ショッピングモールにおいて、犯罪被害の防止を目的に「安全・安心まちづくりフェスタ 2018」を開催しました。

特殊詐欺被害防止の寸劇や子供防犯教室、防犯関連企業による最新防犯設備の展示などを通じ、来場者の防犯意識の高揚を図っています。

ウ 金融機関と連携した特殊詐欺被害防止キャンペーン

秋田県警察では銀行と協働し、年金支給日に合わせて特殊詐欺被害防止キャンペーンを実施しています。

各警察署では、「だまされま煎(せん)茶」、「特殊詐欺封じ(ほうじ)茶」などの洒落を効かせたキャッチコピーを付けたお茶のパックを配布するなど、それぞれ工夫をこらして、来店者の関心を引きつけ、効果的に広報しています。



だまされま煎(せん)茶



特殊詐欺封じ(ほうじ)茶

(3)街頭防犯カメラの設置

街頭防犯カメラは、犯罪の抑止と事件・事故等の早期解決に高い効果が認められています。

秋田県警察では、平成 27 年度以降、県内で犯罪の多い繁華街など 69 箇所に街頭防犯カメラを設置しています。街頭防犯カメラを設置した地域の刑法犯認知件数は減少傾向を示し、効果が現れているところです。

今後も、犯罪情勢を見ながら街頭防犯カメラの設置を促進するほか、自治体や商店街、施設管理者に対しても設置の働き掛けをして、県民の体感治安の向上に結びつけたいと考えております。

5 結びに

平成 30 年 3 月、東北では最後となりましたが、秋田県にも「防犯設備協会」が設立されました。

防犯設備協会におかれましては、安全で信頼できる防犯設備等の普及、防犯相談・防犯診断などの各種活動を通じ、社会の安全に貢献されていることに対しまして、深く敬意を表します。

秋田県警察としては、今後とも防犯設備協会と緊密に連携し、「日本一安全で安心なふるさと秋田」を目指す所存ですので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。